

にLPガスを

院・福祉関係者に訴求

岩谷産業宮崎営業所(山下伸之所长)は8月29日、宮崎市の宮崎市民文化ホールで「省エネ・BCP対策セミナー」を開いた。県内のガス事業者のほか、病院、福祉関連施設などから30人が参加した。

雨など大雨など大発し、B運用することで緊急時の対応力が強化される②の自社の経営実態(在庫管理、顧客管理)が把握でき、懸念される南海トラフ

巨大地震では、東日本大震災同様、津波で広域に被災し救援が遅れる可能性が高い。BCPの必要はますます高まる」と強調した。

岩谷産業総合エネルギー本部生活総合サービス部の米重翔平氏は「災害時におけるLPガスを利用したBCP対策と今年度の補助金」のテーマで、LPガス式、ディーズル式非常用発電機のメリットとデメリット、オフィスでの主要な電気製品の電力消費量を解説。GHYやLED照明による省エネ提案と合わせ、

九州LPガス第八地域連絡協議会(山田耕司会長)と長崎県中核充てん所委員会は8月22日、長崎市のホテルニュー長崎で「平成30年度第八地域実地訓練計画打ち合わせ

関係機関の連帯図る

第八地域 広域訓練に向け会議

九州LPガス第八地域連絡協議会(山田耕司会長)と長崎県中核充てん所委員会は8月22日、長崎市のホテルニュー長崎で「平成30年度第八地域実地訓練計画打ち合わせ



円滑な訓練に向け関係機関が一堂に会した

訓練のため、石油天然ガス・鉱物資源機構(JOGMEC)が出席した。荒木健治・長崎県LPガス協会会長はあいさつで「二昨年の熊本地震、昨

年九州北部豪雨に続き、今年も台風被害が発生している。九州管内で災害が多発するなか、われわれLPガス事業者が災害時に何が出来るか、何が必要なのかを検討し、具体的な対策を行っていくことが重要。第八地域の実地訓練は今年で4回目。災害時のLPガス安定供給のため、訓練を通じて関係機関相互の連携強化を図って

ユカカラ暖房 常用提案の切り口に

FHSネット 説明会で参加呼びかけ



内海久俊代表

リボンガスの内海久俊社長が代表を務めるFHSネットワークは4日、熊本市のリボンガス本社で「第2回ユカカラ暖房

事業説明会in熊本」を開いた。温水床暖房事業への新規参入を検討するLPガス販売事業者など11人が温水床暖房の仕組みや事業のスキームを学んだ。

ユカカラ暖房は、「主房」としての温水床暖房を広めるため新たに登録した商標で、既存の床



001 認定取得

温水床暖房の仕組みをモデルで解説した

「と現状分析した。そのうえで、事業活動の転機となった熊本地震の広い空間に対応できる。病院や公共施設の災害対策、停電対策にLPガスが有効なことはない。自家発電装置、対バルクとセツトで温水床暖房を

事業説明会in熊本」を開いた。温水床暖房事業への新規参入を検討するLPガス販売事業者など11人が温水床暖房の仕組みや事業のスキームを学んだ。

ユカカラ暖房は、「主房」としての温水床暖房を広めるため新たに登録した商標で、既存の床

の協力で、草津市の市民交流プラザで開く。内海代表は「使用するパネルなどは資材であり、それ自体は完成された商品ではない。販売、設計、施工、アフターサービスまで一貫した責任施工を伴って初めて商品になる。10年後の目標はFHSネットワーク全体で200億円、リボンガス単体で25億円。パートナー企業とともに日本の温水床暖房販売施工ネットワークを目指す」と話している。

事務所開設

エナジー・ソリューションズ福岡営業所(6日)▽住所 812-10011 福岡市博多駅前2-12-12 第五グリーンビル5階▽092-710-5842 福岡15843